

# 带状疱疹ワクチンについて

## 带状疱疹の概要

带状疱疹は、過去に水痘（水ぼうそう）にかかった時に体の中に潜伏した水痘带状疱疹ウイルスが再活性化することにより、神経に沿って、典型的には体の左右どちらかに帯状に、時に痛みを伴う水疱（水ぶくれ）が出現する病気です。合併症の一つに皮膚の症状が治った後にも痛みが残る「带状疱疹後神経痛」があり、日常生活に支障をきたすこともあります。带状疱疹は、70歳代で発症する方が最も多くなっています。

## 使用するワクチン

带状疱疹ワクチンには生ワクチン、組換え（不活化）ワクチンの2種類があり、いずれか1種類を接種します。

	生ワクチン	組換えワクチン (不活化ワクチン)
接種回数	1回	2カ月以上の間隔をあけて2回
接種部位	皮下	筋肉内
効果		
接種後1年時点・・・	6割程度の予防効果	9割程度の予防効果
5年時点・・・	4割程度の予防効果	9割程度の予防効果
10年時点・・・	—	7割程度の予防効果
主な副反応の発現割合		
70%以上・・・	—	疼痛
30%以上・・・	発赤	発赤、筋肉痛、疲労
10%以上・・・	そう痒感、熱感、腫脹、疼痛、硬結	頭痛、腫脹、悪寒、発熱、胃腸症状
1%以上・・・	発疹、倦怠感	そう痒感、倦怠感、その他の疼痛

接種を希望される方は、医師との診察後、後日接種となります。まずはお電話にてご相談ください。

